

シグナルマークについて

- シグナルマークは危険のレベルを表します。それぞれのマークの内容をよくご理解頂いた上で、必ず記載の注意事項を守ってください。
- △**危険**—取扱いを誤った場合に、死亡、重傷の危険が発生します。
- △**警告**—取扱いを誤った場合に、死亡、重傷の危険が発生する可能性があります。
- △**注意**—取扱いを誤った場合に、軽傷を負うか、物的損害を負う危険が発生する可能性があります。

積載物について

- △**注意** 最大積載量は60kgまでです。過積載は絶対に行わないでください。使用状況によっては、60kg未満でも屋根や雨ドイの変形及び、キャリアが破損する場合があります。また過酷な使用を行うことにより積載能力は低下いたします。
- △**注意** 下記の物は積載しないでください。スキー板、ストック、スノーボード、サーフボード、自転車、コンテナ、ルーフボックス、ウィンドサーフボード、ポール、ブーム、ボート、カヌー、カヤック等の風抵抗の大きいもの。
- △**注意** 下記の大きさを超える荷物は積載しないでください。積載を超える大きさの物は絶対に積載しないでください。また長さにおかれましては、制限内であっても積載物がキャリアからはみ出す場合は前後均等にはみ出すようにしてください。
→どちらか極端にはみ出すことにより、キャリアに不規則な力は加わり破損、脱落、車両の変形等の原因になります。

品番	長さ×幅×高さ
ZM-700L	1100×1000×600

取扱い上の注意

- △**注意** 積載重量を守り、過積載は絶対に行わないでください。
→過積載をしますと、脱落や破損だけでなく車両の変形、積載物落下等の原因になります。
- △**注意** 積載物をキャリアに載せたり、降ろしたりする際はキャリアに衝撃がかからないようにゆっくりと行ってください。
→強い衝撃(集中荷重)がかかることによりキャリアの破損、脱落の原因になります。
- △**注意** 走行前と走行後には、必ず各締め付け部にトルミが無いか点検してください。
→締め付け部にトルミがあると、思わぬ脱落事故を起こします。
- △**注意** 積載物の重量配分はどちらか(左右)に片寄らないようにして、できるだけ均等に平坦に積載してください。
→どちらか(左右)に積載物が片寄りますと運転に支障を生じたりキャリアの本体にも変則的な力がかかり破損や脱落事故の原因になります。
- △**注意** キャリアの使用時は特に法定速度を守り、急発進、急ブレーキ、急ハンドル等の過酷な運転は避け悪路では徐行してください。
→キャリアがズれる等、危険な状態に変化することがあります。
- △**注意** キャリア装着車は車両の全長が長くなり、また地上高も高くなるため、車両をバックさせる場合や高さ制限のある所を通行する場合は十分に注意してください。→キャリアの破損、脱落、車両の変形の原因になります。

保管方法・保守について

- △**注意** 本体とネジ類の防錆処理は市販の防錆剤にて、定期的に行ってください。
- △**注意** キャリアを保管する場合は、きれいに清掃し防錆処理を行った上で湿気の無い所で保管してください。

- ◆**部品交換について**
部品を破損、紛失された場合は、ご使用のキャリアの品番及び「本書」の構成パーツ表の各部品名にてお買い求めの販売店又は弊社までお問い合わせください。

事故が起きた時は

製品の欠陥等により万が一事故が発生した場合は、速やかに販売店または弊社までご連絡ください。事故対応をスムーズに行うためにも、お客様に以下のことをご用意して頂く必要があります。

- (1)事故製品の確保—事故発生時のままの状態のもの(製品をバラバラにしない)
- (2)損害の内容—損害を受けた現物、また損害を証明できるもの
- (3)事故発生状況—日時、場所、事故発生状況、公共機関への届出(事故、紛失届)(いつ、どこで、何が、どのように)

*お客様の誤った組立て、取付け、使用による事故等の責任は一切負いかねますのでご了承ください。

Rocky+ ロッキープラス株式会社

〒463-0025 名古屋市守山区元郷2-107 TEL(052)778-7876 FAX(052)778-7718

HP <https://www.rocky.ne.jp> E-mail rocky@rocky.ne.jp

202605

ROCKY ROOF CARRIER

ZMシリーズ 取扱い説明書

【スズキ】DA16T スーパーキャリア

品番 / ZM-700L

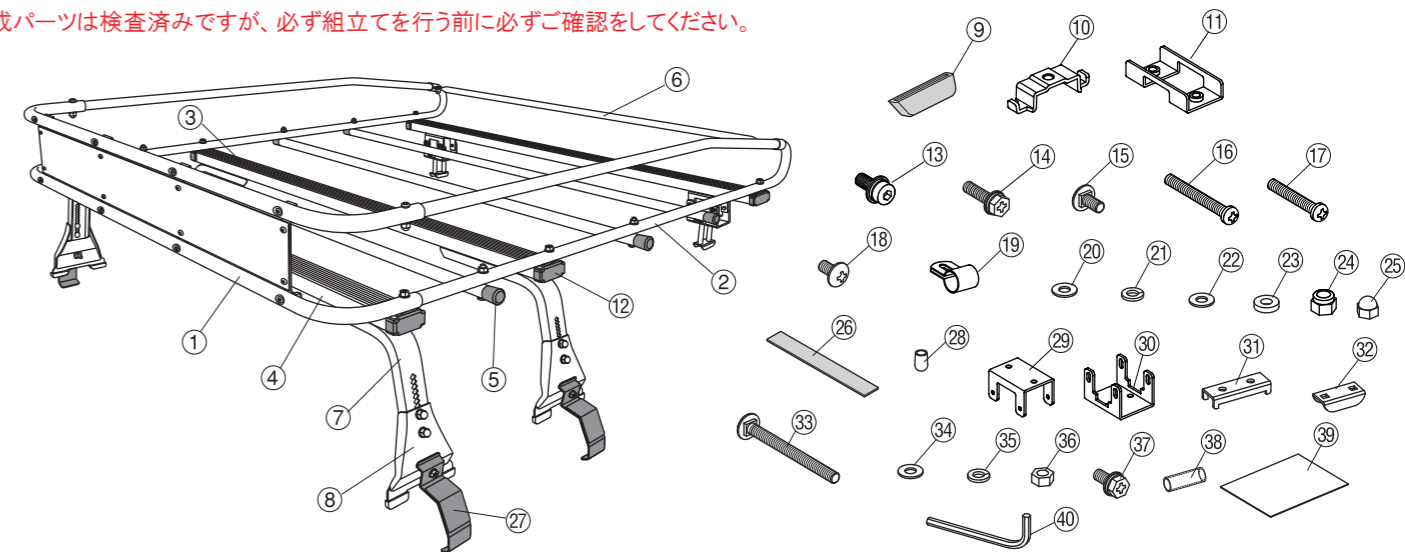
この度はロッキーワークツール「ZMシリーズ/高耐食溶融めっき製」をお買い上げいただきありがとうございます。常に安全な状態で、ご使用して頂く為に「取扱い説明書」をよくお読みの上ご使用ください。
尚、販売店にて本製品を取付けられましたら、本書を必ずお客様にお渡しください。
製品(組立て、取付け等)についてご不明な点は、お買い求めの販売店又は弊社までお問い合わせください。誤った組立て、取付け、使用による事故等の責任は一切負いかねますので、ご了承ください。

ご使用前に

- △**警告** 本製品は、スズキ・スーパーキャリア(DA16T)の専用となります。他の車種には取付けできません。
- △**警告** 本製品の改造は絶対に行わないでください。
本製品の改造による事故責任は一切負いかねます。
「例」 部品類の穴あけ加工・溶接 ・市販品のアタッチメントを使用して荷物(スキー・自転車)等の積載
本製品以外の部品による組立て及び、部品交換 ・荷受部の全面に合板等を敷く・看板等の取付け
- △**警告** 部品不足での使用は絶対に行わないでください。
- △**注意** キャリアを取付けた状態で洗車機にかけないでください。
キャリアに無理な力がかかり、ルーフの変形等の損傷を車に与えます。
- 本製品の取付けには「+ドライバー」「10mmスパナ」「はさみ」「マスキングテープ」「物差し(コンベックス)」をご用意していただきますようお願いいたします。

構成パーツ

- 構成パーツは検査済みですが、必ず組立てを行う前に必ずご確認してください。



No	部品名称	数量	No	部品名称	数量	No	部品名称	数量	No	部品名称	数量
①	フロントフレーム	1	⑪	ナットプレート	6	⑳	バネ座金M6 UC	12	㉑	挟み金具(上)	2
②	サイドフレーム	2	⑫	フレームキャップ	6	㉒	ナイロンワッシャー M6	12	㉒	挟み金具(下)	2
③	ラバー	3	⑬	キャップボルトセットM6	12	㉓	ゴムパッキン	6	㉓	角根ボルトM6x75 BK	4
④	フレームチャンネル	3	⑭	六角ボルトセットM6 UC	10	㉔	ナイロンナット M6	6	㉔	平座金M6-13 BK	4
⑤	キャップ付パイプ	3	⑮	角根ボルトM6x13 UC	8	㉕	袋ナットM6 UC	12	㉕	バネ座金M6 BK	4
⑥	フレーム補強パイプ	1	⑯	丸ネジM6 (長)	6	㉖	塩ビテープ	3	㉖	六角ナットM6 BK	4
⑦	脚ステーM	4	㉑	丸ネジM6 (短)	2	㉗	取付フック	4	㉗	六角ボルトセットM6x15 BK	8
⑧	インナークランプ	4	⑰	トラスネジ M6	2	㉘	安全キャップ	4	㉘	透明チューブφ9	4
⑨	インナー保護キャップ	8	⑱	サイドフレームクランプ	2	㉙	鳥居金具(上)	2	㉙	保護シート	2
⑩	フレームチャンネル金具	6	㉒	平座金M6-13 UC	12	㉚	鳥居金具(下)	2	㉚	L型レンチ	1

[注] 取扱説明書の数量は総数を記載しております。使用箇所に分けて入っている場合があります

組立て方法①

△注意 キャリアの組立て時はケガ防止のため、滑り止め付軍手を使用してください。
 キャリアの組立て時にラチェットレンチを使用の場合は締め過ぎによりボルトやナットの破損の恐れがある為、締め過ぎには十分に注意して締付けてください。
 指示のない締付けの目安はバネ座金の口が閉じてから90度程度回るぐらいです。

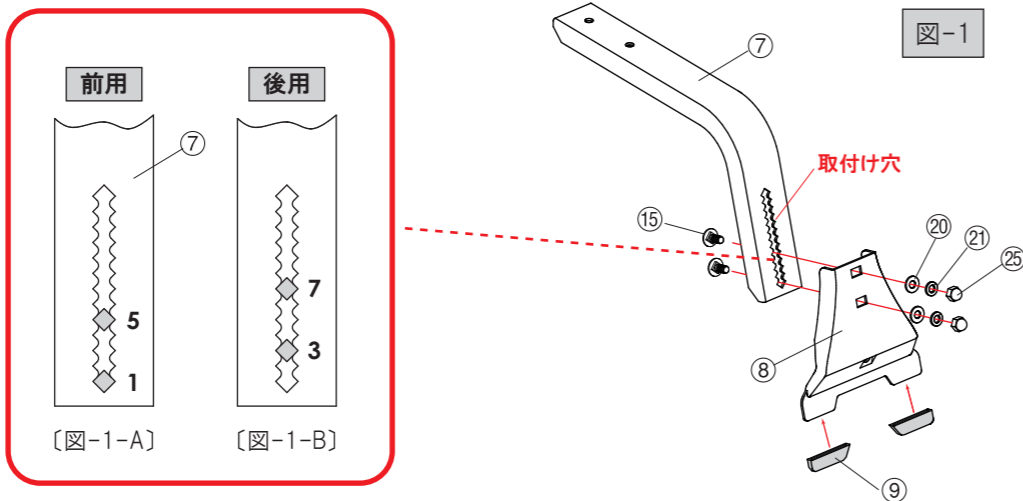
1. 【前脚セット】と【後脚セット】を各2セット組立てます。〔図-1〕

【前脚セット】

⑦脚ステー取付け穴の「下から1番目の◇穴と5番目の◇穴」〔図-1-A〕に⑧インナークランプを組付け、⑮角根ボルトM6、⑳平座金M6、㉑バネ座金M6、㉒袋ナットM6にて**仮組付け**します。
 その後、⑧インナークランプの下端に⑨インナー保護キャップを差込みます。

【後脚セット】

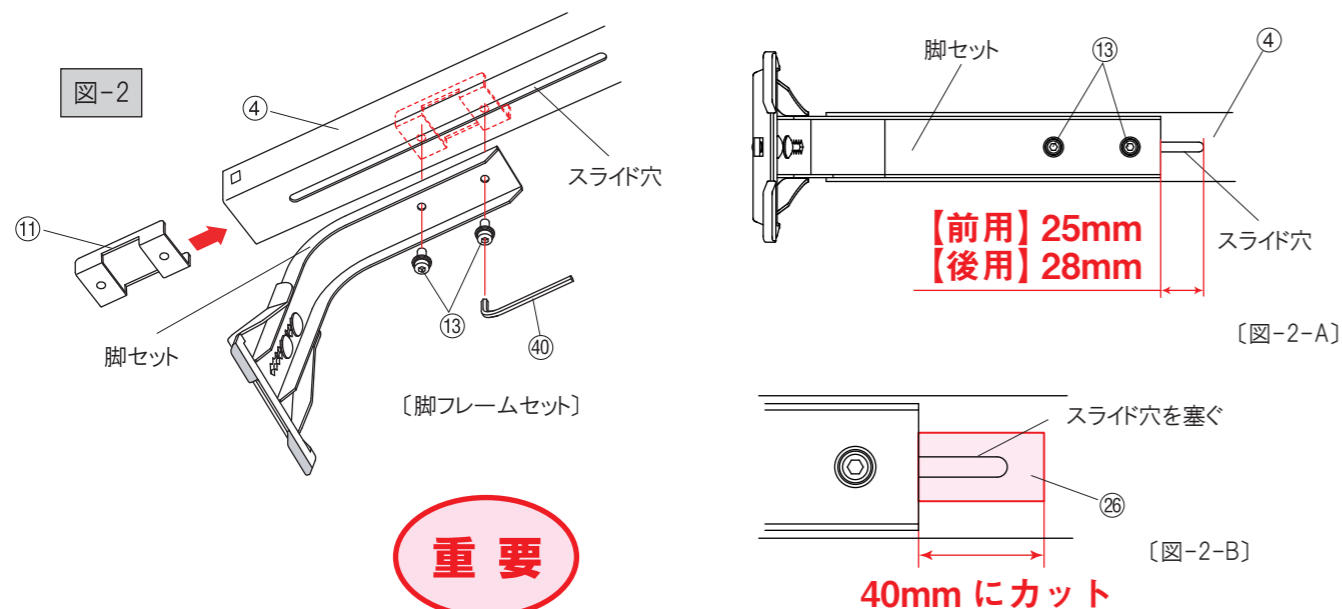
⑦脚ステー取付け穴の「下から3番目の◇穴と7番目の◇穴」〔図-1-B〕に⑧インナークランプを組付け、⑮角根ボルトM6、⑳平座金M6、㉑バネ座金M6、㉒袋ナットM6にて**仮組付け**します。
 その後、⑧インナークランプの下端に⑨インナー保護キャップを差込みます。



2. 【前脚フレームセット】と【後脚フレームセット】を各1セット組立てます。〔図-2〕

④フレームチャンネルの中に⑪ナットプレートを上下の向きに注意して入れ、「1.」で組付けを行った「前後の脚セット」を④フレームチャンネル下のスライド穴にあてがい、⑬キャップボルトセットM6にて**仮締め**します。締付けの際はそれぞれ下記寸法にあわせて**仮締め**を行ってください。〔図-2-A〕
 仮締め後、⑳塩ビテープをはさみで「40mm」にカットし離型紙を剥がし、スライド穴を塞いでください。〔図-2-B〕

△注意 必ずスライド穴を塞いでください。スライド穴を塞がないと走行中に笛を吹いたような異音が発生します。

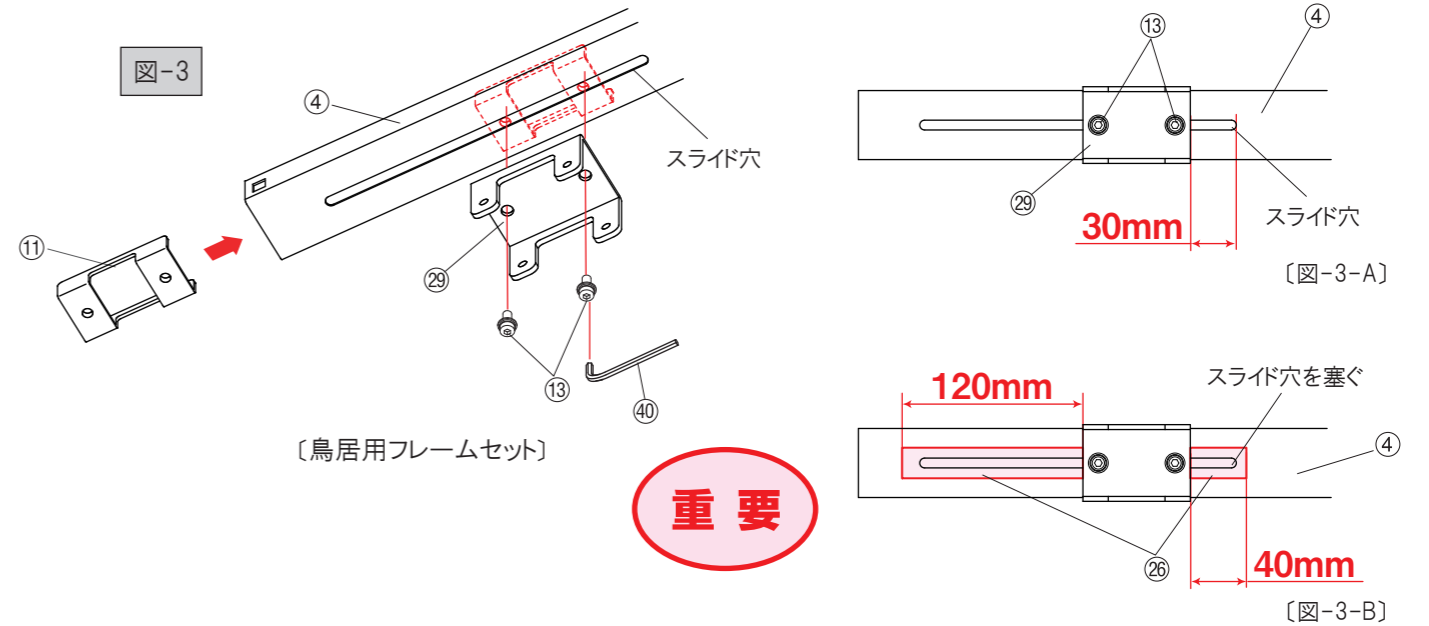


組立て方法②

3. 【鳥居フレームセット】を1セット組立てます。〔図-3〕

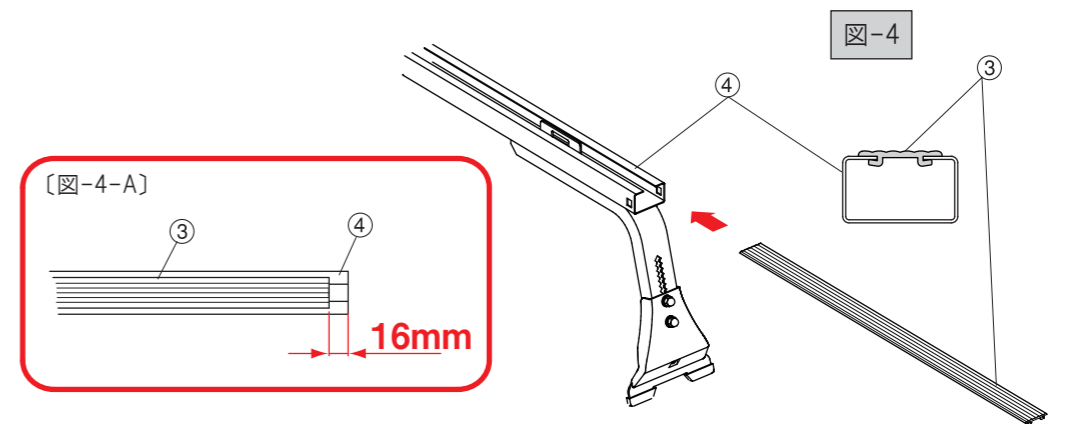
④フレームチャンネルの中に⑪ナットプレートを上下の向きに注意して入れ、㉓鳥居金具(上)を④フレームチャンネル下のスライド穴にあてがい、⑬キャップボルトセットM6にて締付けます。
 締付けの際は下記寸法にあわせて**本締め**を行ってください。〔図-3-A〕
 締付け後、㉔塩ビテープをはさみで「40mm」と「120mm」の長さにカットし離型紙を剥がし、内側には「40mm」外側には「120mm」を貼ってスライド穴を塞いでください。〔図-3-B〕

△注意 必ずスライド穴を塞いでください。スライド穴を塞がないと走行中に笛を吹いたような異音が発生します。

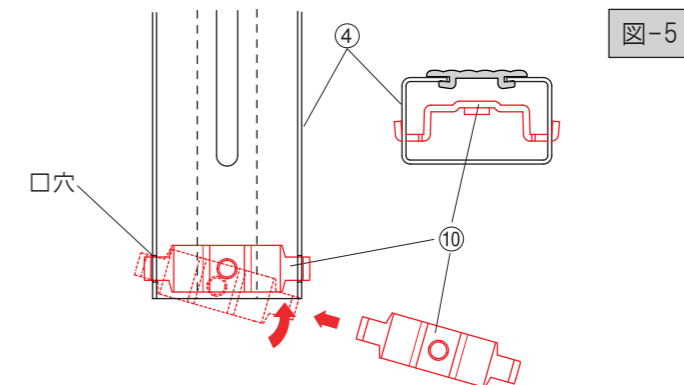


4. 「前・後・鳥居フレームセット」の④フレームチャンネルに③ラバーを通します。〔図-4〕

③ラバーを通す際は④フレームチャンネルの端から「16mm」空けた状態にしておいてください。〔図-4-A〕



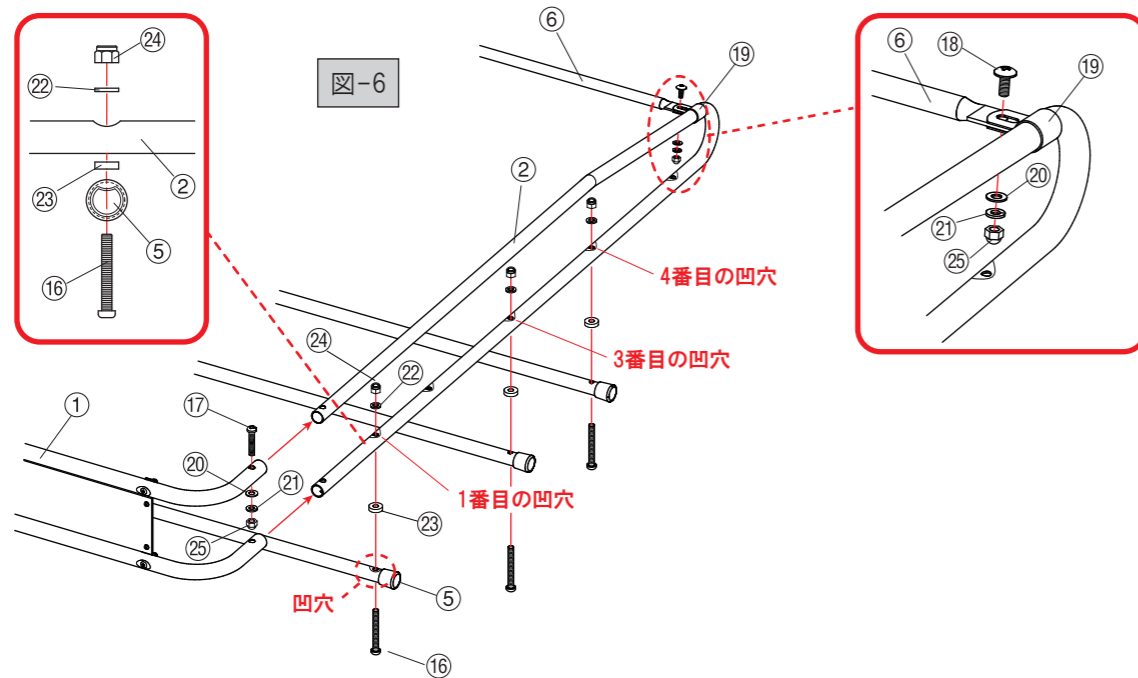
5. 「前・後・鳥居フレームセット」の④フレームチャンネルの両端に⑩フレームチャンネル金具を入れておきます。入れる際は④フレームチャンネルの口穴の内側から⑩フレームチャンネル金具を斜めに入れ反対側を口穴に引っ掛けます〔図-5〕



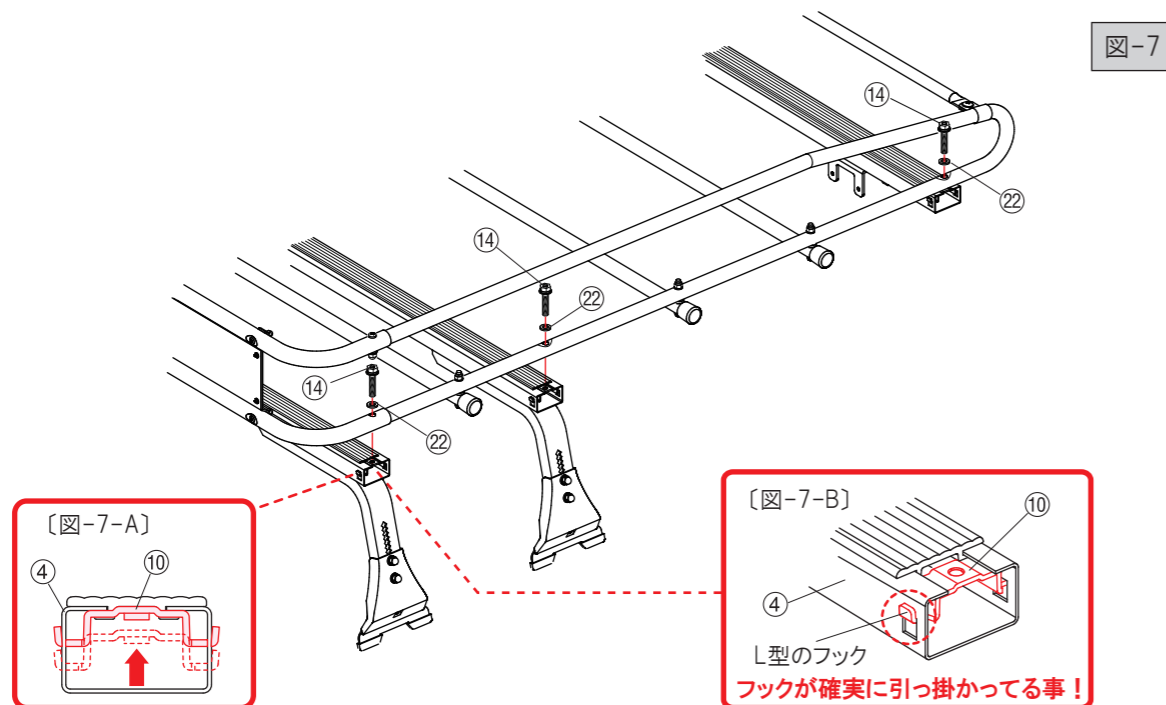
組立て方法③

6. 「フロントフレームセット」を組立てます。②サイドフレームに⑱サイドフレームクランプを通し、①フロントフレームに差込みます。①フロントフレームの上のパイプの丸穴から⑰丸ネジ(短)を通し、⑳平座金M6、㉑バネ座金M6、㉒袋ナットM6にて締付けます。次に⑱サイドフレームクランプを⑥フレーム補強パイプの先端に挟ませ、⑱トラスネジM6、⑳平座金M6、㉑バネ座金M6、㉒袋ナットM6にて締付けます。②サイドフレームの**1番目・3番目・4番目**の凹穴に⑤キャップ付パイプの凹穴を上にして、下から⑯丸ネジ(長)を通し ㉓ゴムパッキン、㉔ナイロンワッシャー、㉕ナイロンナットM6にて締付けます。〔図-6〕

△注意 ㉓ゴムパッキン、㉔ナイロンワッシャーは雨等での水の浸入を防ぎ、サビ発生の防止効果がある為、必ず使用してください。

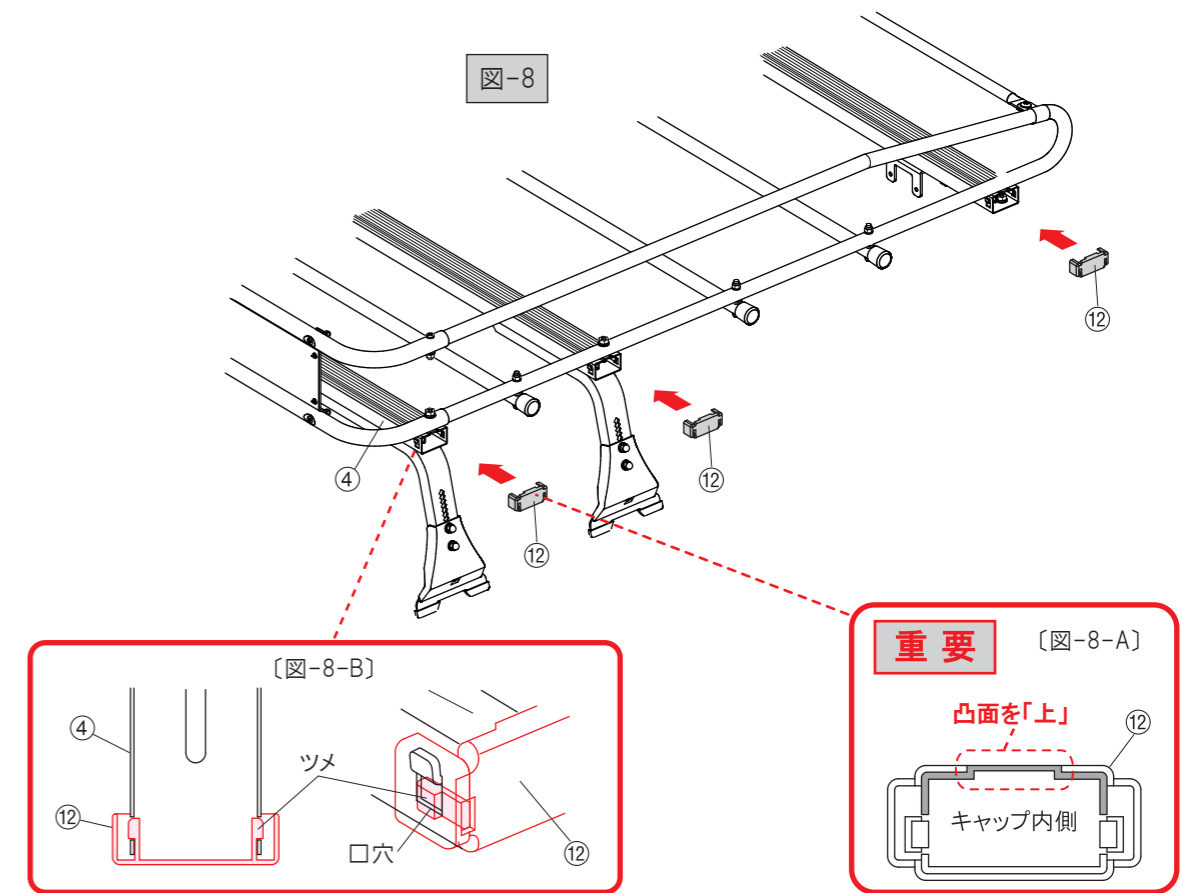


7. 6で組立てた「フロントフレームセット」と2.3で組立てた「前後・鳥居脚フレームセット」を組付けます。〔図-7〕
④フレームチャンネル両端上面の16mm空いている所に「フロントフレームセット」を載せ、⑭六角ボルトセットM6 UC、㉔ナイロンワッシャーにてしっかりと締付けます。締付けの際は⑩フレームチャンネル金具を指で上上げた状態で締付けを行ってください。〔図-7-A〕
この時、⑩フレームチャンネル金具の両端のL型フックが④フレームチャンネルの口穴に確実に引っ掛かった状態であることを確認してください。〔図-7-B〕



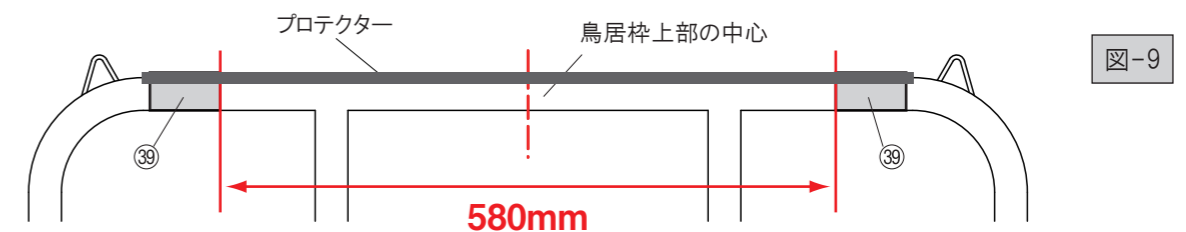
組立て方法④

8. ④フレームチャンネルの先端に⑫フレームキャップを取付けます。〔図-8〕
この時⑫フレームキャップの**凸面**を上にした状態で〔図-8-A〕④フレームチャンネル先端横の口穴に⑫フレームキャップのツメを引っ掛けます〔図-8-B〕

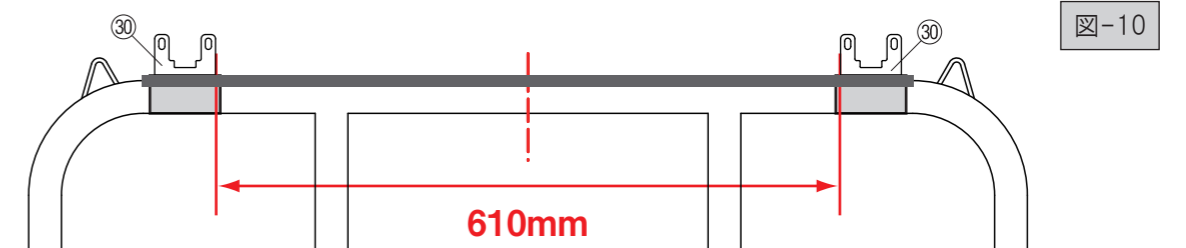


取付け方法①

1. キャビン後方の「鳥居柱」の上部に⑳保護シートを貼ります。〔図-9〕
「鳥居柱」上のパイプの中心を計り、マジック等でマーキングをし、左右均等に「580mm」になるように、⑳保護シートの100mm側を横にして「鳥居柱」全周を巻き込むように左右2か所貼ってください。この時、プロテクター付き車はプロテクターの上から貼ってください。

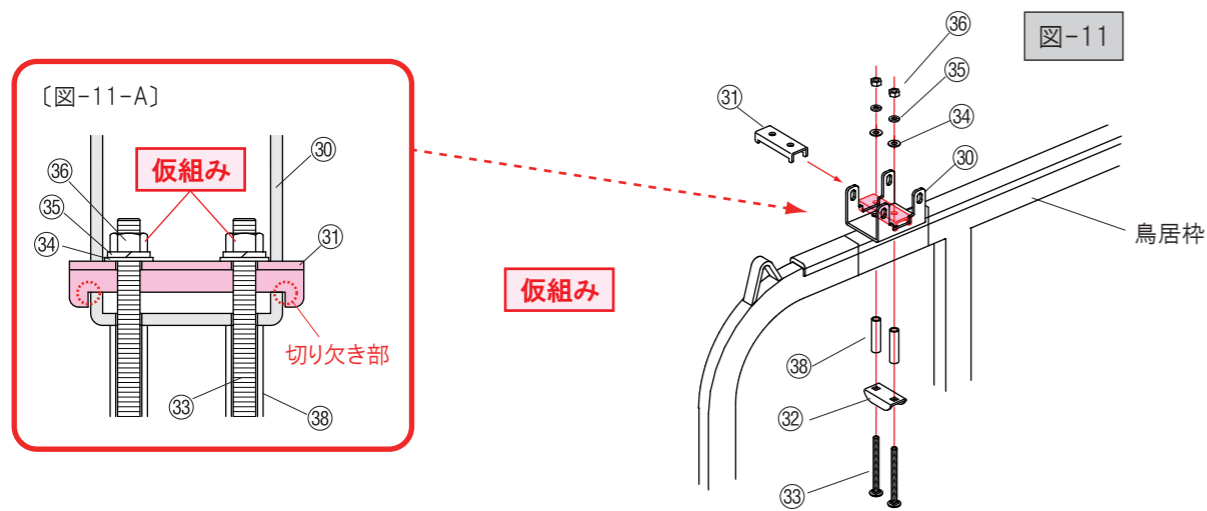


2. 「鳥居柱」の上部に⑳鳥居金具(下)を左右2セット取付けます。⑳鳥居金具(下)の内側が左右均等に「610mm」になるように、「鳥居柱」の上に載せます。この時、プロテクター付き車はプロテクターの上に載せてください。〔図-10〕

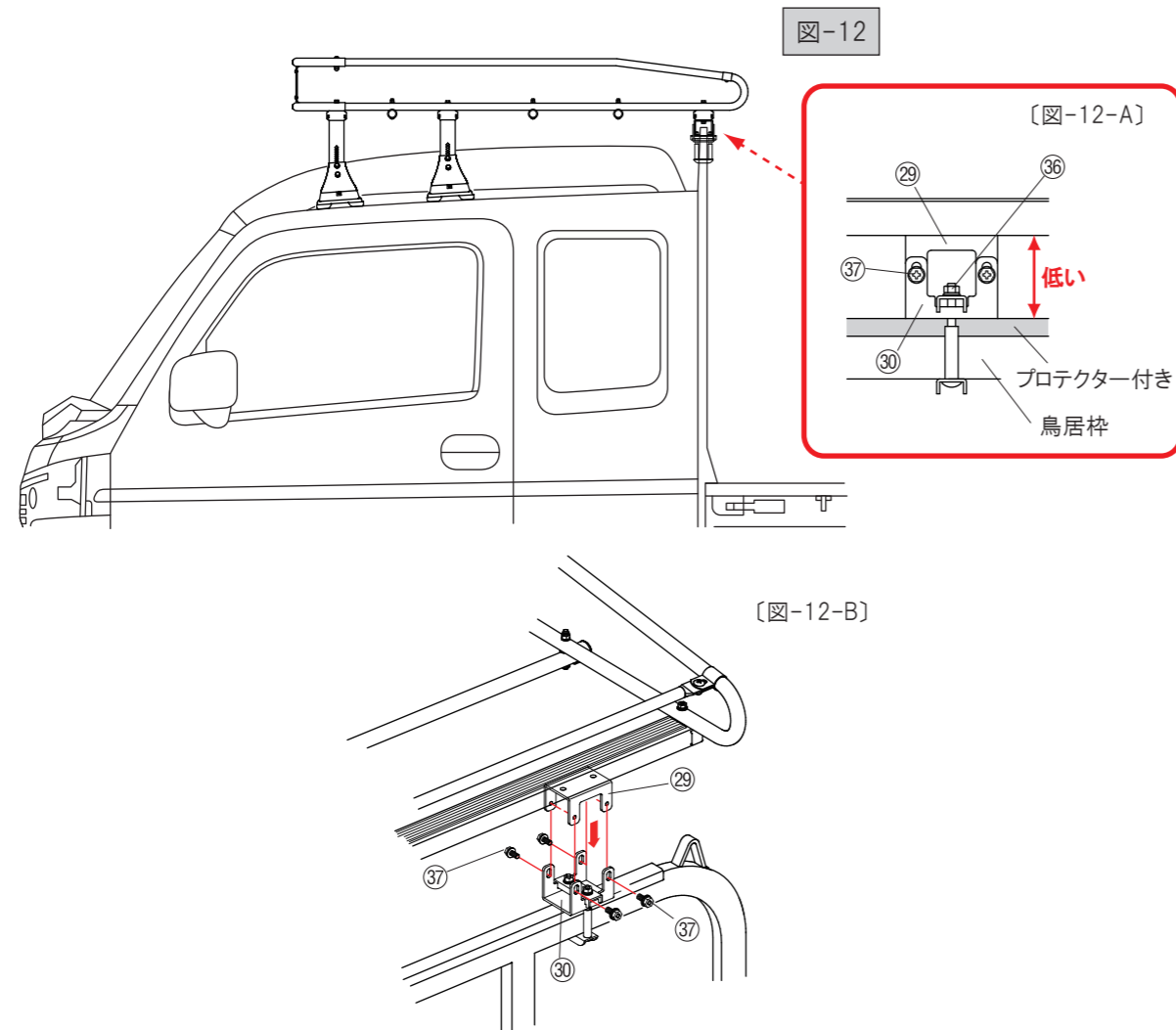


取付け方法②

3. ②挟み金具(下)の角穴に③角根ボルトM6×75 BKを通し、③透明チューブ差し込みます。「鳥居枠」を挟みながら、③鳥居金具(下)の丸穴に通し、③挟み金具(上)を③鳥居金具(下)に被せて④平座金M6 BK、⑤パネ座金M6 BK、⑥六角ナットM6 BKで**仮組み**します。〔図-11〕
この時、③挟み金具(上)の切り欠き部と③鳥居金具(下)の組込みを確認してください。〔図-11-A〕

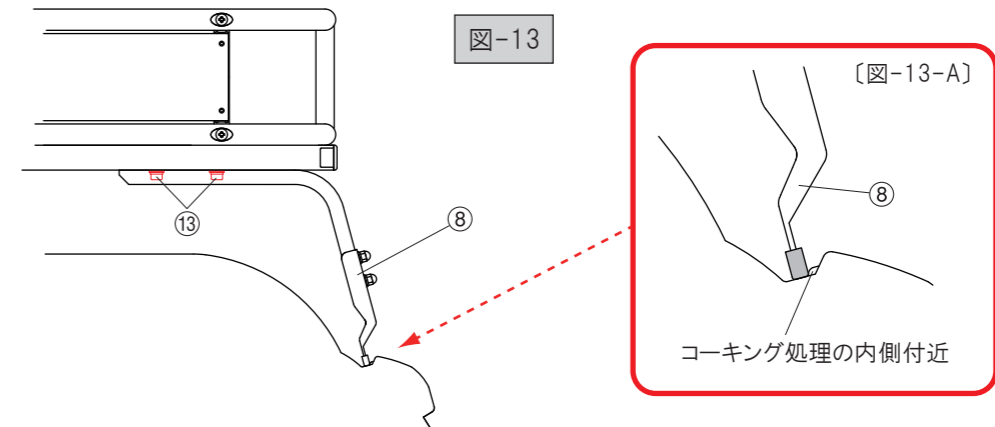


4. 組立てを行ったキャリアの脚部をゆっくりルーフの溝に載せ、最後部の【鳥居フレームセット】の②鳥居金具(上)と「鳥居枠」に組付けた③鳥居金具(下)を組付けます。〔図-12〕
この時、プロテクター付き車は②③鳥居金具(上)(下)の組合せが「**低い**」なるように、プロテクター無し車は②③鳥居金具(上)(下)の組合せが「**高く**」なるように長穴で調整し〔図-12-A〕
横から ⑦六角ボルトセットM6 BKにて締付けます。〔図-12-B〕
締付け後、「取付け方法②-3」で**仮組み状態**の⑥六角ナットM6 BKを**本締め**します。〔図-12-A/左右4か所〕

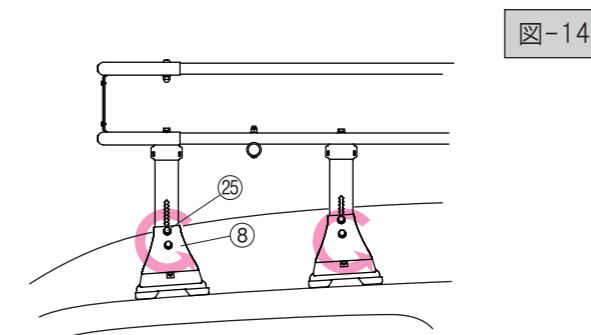


取付け方法③

5. 正面から見て⑧インナーランプの下がルーフの溝のコーキング処理の内側付近に〔図-13-A〕寄っているかの確認を行い、「組立て方法①-2」で仮締め状態の⑬キャップボルトセットM6を**本締め**します。〔図-13〕

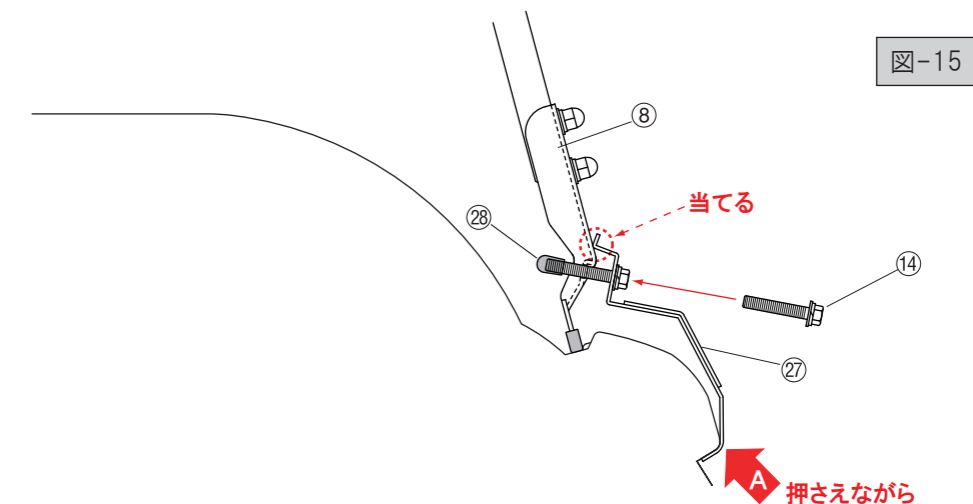


6. 横から見て⑧インナーランプの下がルーフの溝の傾斜に沿うように、「組立て方法①-1」で仮組付けしている⑤袋ナットを緩めて⑧インナーランプを傾斜に沿わせ、再度⑤袋ナットを**本締め**します。〔図-14〕



7. ⑧インナーランプに⑦取付フックを締付けます。
⑦取付フックの下をドアに引っ掛け、フック上端は⑧インナーランプに当てて、⑭六角ボルトセットM6にて締付けます。締付けの際は「A」部を指で押さえながら4カ所均等に締付けを行ってください。その後、飛び出したボルトの余りに⑳安全キャップをはめてください。〔図-15〕

△注意 締付けの際は1カ所だけ一気に締付けしないでください。4カ所順番に均等なトルクで締付けてください。



8. 最後にキャリアを前後左右に揺すり、ガタツキ、ユルミが無い事の確認を行ってください。ガタツキ、ユルミがある場合は再度取付け方法に沿って取付けを行ってください。